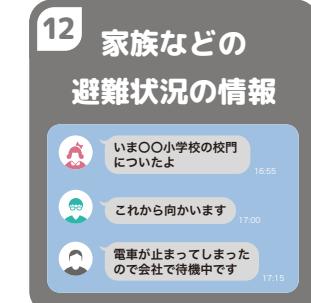
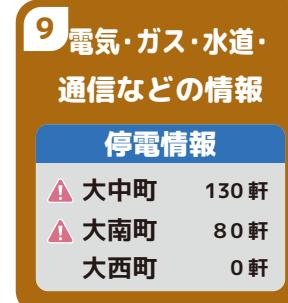
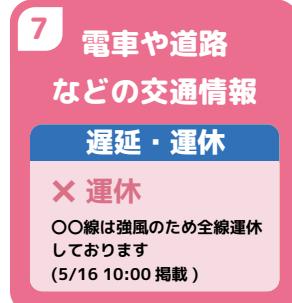
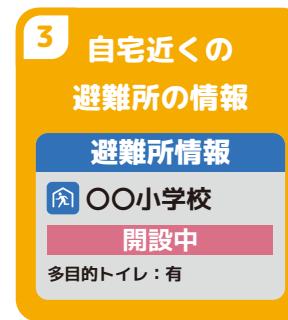
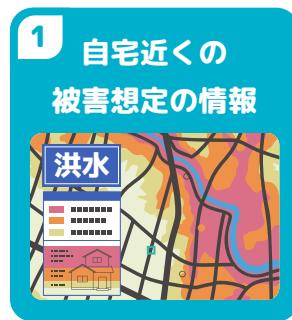
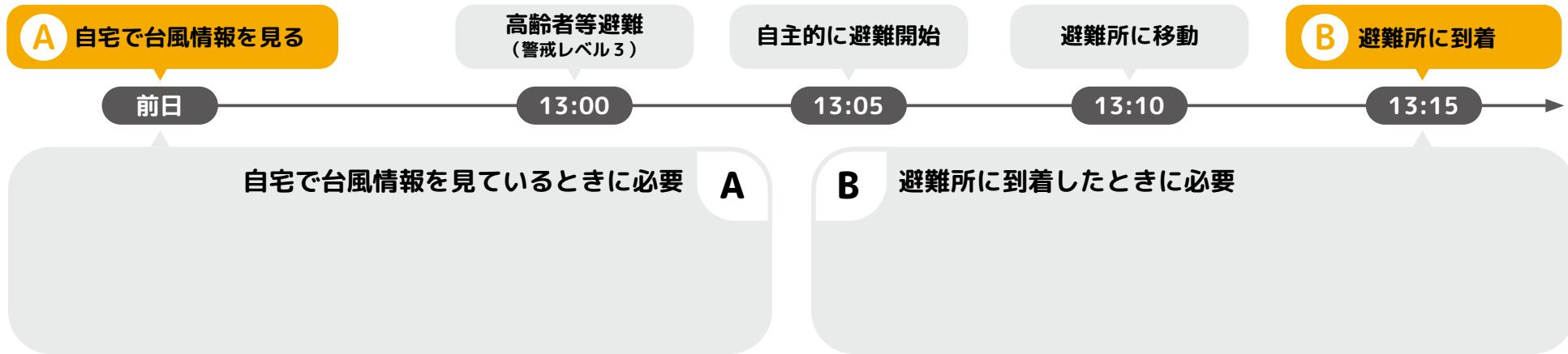




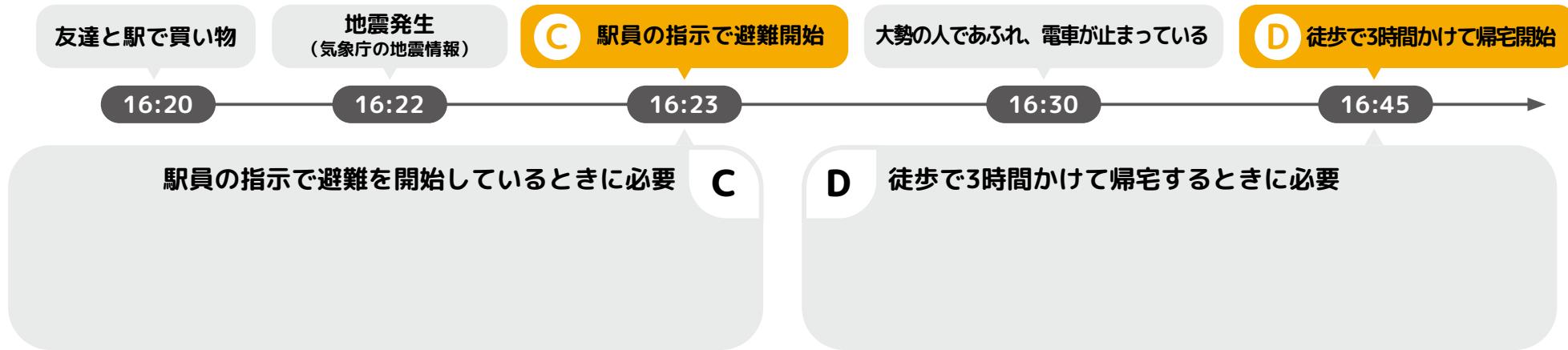
災害時のSNSの使い方③

1 大型の台風が近づいている時、いつ、どんな情報が必要か考えてみましょう。

「A：自宅で台風情報を観ているとき」と、「B：避難所に到着したとき」に、どのような情報が必要でしょうか。



- 2 友達と買い物中に地震が起きた時、いつ、どんな情報が必要か考えてみましょう。
 「C：駅員の指示で避難を開始しているとき」と、「D：徒歩で3時間かけて帰宅するとき」に、どのような情報が必要でしょうか。



1 自宅近くの被害想定の情報	2 自宅近くの避難経路の情報	3 自宅近くの避難所の情報	4 自宅近くの警戒情報	5 災害の規模や被害状況の情報	6 気象情報
7 電車や道路などの交通情報	8 現在地の近くの避難場所の情報	9 電気・ガス・水道・通信などの情報	10 食料・水・充電場所などの情報	11 家族などの安否情報	12 家族などの避難状況の情報

! 「情報防災バッグ」を準備しよう

あらかじめ、どのように情報を収集・共有するかを考えておくために、「情報の」防災バッグをつくってみましょう。

「防災バッグ」として、水や食料などを準備したことがあると思いますが、情報についても事前の準備が大切になります。そこで、この情報防災バッグを準備するために、「こしあん」というキーワードを覚えておきましょう。

Ⓐは行動する前に確認しておく情報、Ⓑは信頼できる最新の情報を確認するための方法、ⒶⒶは安否情報などを共有するための方法です。

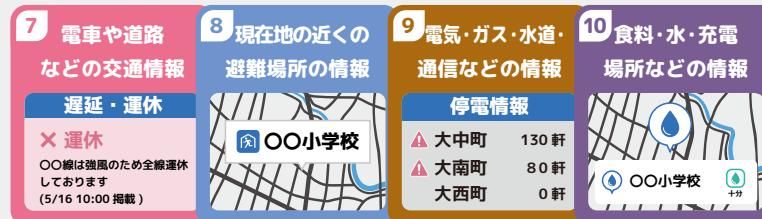
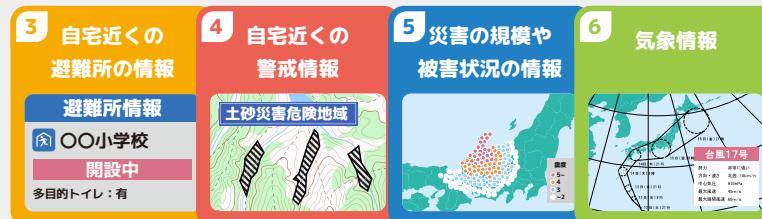
こ

行動する前に
確認しておく情報



し

信頼できる最新の情報を
確認するための方法



あん

安否情報などを
共有するための方法

